

◆まちづくり地域優良事例集◆ 中央区まちづくりセンター

近未来キャラバン



〈取り組みの内容〉

小学3年生～6年生が対象の体験型ワークショップで、“企画力”・“ものづくりを通じた地域とのつながり”をコンセプトに、校区のホームページ（HP）公開までのプロセスを体験するものです。夏休み期間に実施します。地元在住・Web業界の講師のサポートのもと、子どもたちが自分で取材・撮影・HP制作・地域へのプレゼンまで行います。「地元企業のお仕事」についての取材を通じ、普段ふれることのできない地元企業の取り組みを学び、魅力を発見するとともに広く発信。制作したHPは、地域の方々に引き継いで活用されています。

〈取り組みで工夫にしていること〉

取材にあたってはビジネスマナーを伝授したり、最終日には、ダイジェストムービーを披露し、子どもたちの成長を感じていただくひとコマもあります。作成したHPは、地域の方々に運用していただけるよう、操作や管理の方法などを丁寧にレクチャーしています。



〈取り組みを始めようと思った経緯・きっかけ〉

子どもたちがデジタル関係・Webの仕事に親しむ機会として、2016年に「デジタルハリウッドSTUDIO 熊本」（熊本市）が

「学校法人 未来創造学園」（熊本市）と協力して水俣市で実施した事業がきっかけです。2017年からは、中央区まちづくりセンターが“校区の魅力発見発信事業”として「近未来キャラバン」を実施することになりました。

〈まちづくりとのかかわり〉

子どもたちが取材を通じて、地域とのかかわりを持つことで、地域への愛着形成につながっています。これまで近未来キャラバンを実施した校区では、子どもたちが制作したHPが現在も活用されています。また、地域の方々がHPで自治会活動のPRを行ったり、同様の取り組みを主催したりするなど、すそ野が大きく広がりをを見せています。

〈事業の原動力〉

近未来キャラバンを通して見える、「子どもたちの成長」です。最終日のプレゼンで輝く子どもたちの姿を見ると「来年もがんばろう！」と新たな気持ちになります。

“Webの仕事”はデザインや写真、取材など多岐にわたり、それぞれに奥深さがあることを、子どもたちに感じてもらえたらうれしく思います。



中央区まちづくりセンターの職員、デジタルハリウッドSTUDIO 熊本の受講生、卒業生、プロのライターやカメラマンなどがサポート。